

昭和初期頃の農家のジオラマを作成しました。公開中！

現在郷土資料館では、別海町の主幹産業である農業の変遷をわかりやすく紹介するために、ジオラマを制作しています。

第1弾として、昭和初期頃の農家のジオラマが完成し、展示公開しております。創意工夫を凝らした手作りのジオラマとなっておりますので、ぜひ、ご覧下さい。

今後は、パイロットファーム、新酪農村を制作していく予定です。



「リニューアル予告展示会～北海道開拓記念館から北海道博物館へ」お知らせ！

2015 年に「北海道博物館」が誕生します。新しい展示の見どころや同館が目指す姿や活動を豊富な資料とともにご紹介します。

1. リニューアル予告展示会

■日 時 平成 26 年 10 月 7 日（火）～20 日（月）

■場 所 別海町郷土資料館第 2 展示室

観覧無料（当館常設展示の見学は入館料が必要です。）

2. 関連講座

■日 時 平成 26 年 10 月 12 日（日）

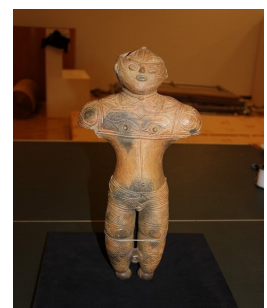
■場 所 別海町郷土資料館

①「よく見てみよう！ アイヌ文様」10：30～12：00

講師 北海道開拓記念館 出利葉 浩司氏

②「アイヌ語と口承文芸の世界」13：30～15：00

講師 北海道立アイヌ民族文化研究センター 田村 雅史氏



【国宝】中空土偶

（複製）縄文文化後期

函館市著保内野遺跡

※講座の申込は、電話・FAX・メールのいずれかにて事業名・お名前・電話番号をお知らせください。

ふるさと講座・歴史系第3回目のお知らせ！

「擦文・アイヌ時代～オンネニクルの森を歩こう・野付 1.2 遺跡」

野付半島の自然、森に残された古代竪穴住居跡・チャシ跡を探索しようと思います。

- 日 時 平成26年10月19日（日）午前10時～午後2時
- 場 所 野付半島（集合：野付半島ネイチャーセンター2階）
- ガイド 野付半島ネイチャーセンター・郷土資料館職員
- 定 員 20名
- 申込方法 電話・FAX・メールのいずれかにてお名前・電話番号をお知らせください。10月17日（金）までにご連絡ください。
- その他 気候が変化しやすい時期なので、防寒着、長靴を着用ください。
昼食は現地で取りますので、お弁当、飲物を持参ください。



シリーズ「近世の別海を探る 野付～その8～」

ポンニタエ

文献史料での表記は、「ポンニタエ」「ホノウフシ」「ホンニウシ」などがあります。文政4年（1821）～安政元年（1854）の文献史料からこの地名が登場します。

地名の由来

☆〔ポンニタエ〕「小木原」

『丙寅慶応二年正月吉日 万覚帳 安政六未年 子モロ地名和解書』

加賀伝蔵 安政6年（1859）

☆〔ポン ノ フプ ウシ〕「极少シ在ル處」

『北海道蝦夷語地名解』永田方生 明治24年（1891）

地勢・建物など

幕府再直轄時代 安政2年（1855）～慶応3年（1867）

・「…ホンニウシより八端帆船にのり一里半程入り海を渡り

てノツケ…」『入北記』島義勇 安政4年（1857）

・「漸ク通り過ギテポンニウシト云フ処ニ至リ此所ニ番家一戸アリ、前ニ沼アリ以前ハ鮭等ノ漁アリシガ今ハ不漁トテ明家ニナリ居リタリ。」『入北記』玉蟲左太夫 安政4年（1857）



別海町郷土資料館だより No.183

発行日 平成26年10月1日

発行所 別海町郷土資料館

別海町別海宮舞町30番地

電話 0153-75-0802（FAX 兼）

e-mail kyoudo@betsukai.jp

編集後記

朝晩の冷え込みも厳しくなりました。今年も後3ヶ月となり、あっという間に新年を迎えそうです。さて、今月は、北海道博物館関連の特別展を開催します。関連講座も開催しますで、ぜひ、ご来館下さい。（K.I）